

はい、ここが私の家ですよ。
職場に近い方が良くて、しばらく前から1人暮らししてるんです
ここが客間だから、好きに使ってくださいね

えーっと……じゃあ、改めて。
私の呪いについてお話しますね

まず、呪い自体はそう複雑なものでもないんです。
さっき話した通り、私の肉体年齢が止まるっていうシンプルなもので…

最初は悪くないと思ったんですけど、周りの人たちに置いていかれるような感じがして…
ほら、現に君と私も、同じ年なのに、とてもそうは見えないでしょ？

仕事をしていても、『こんな子供に任せられるか』って言われる事もあったりして…
だから最近、余計に呪いを解きたいと思うようになったんです

それで、呪いの解き方ですけど…
色々な文献を漁った結果、『癒しの力』でしか解けないという事が分かって

はい、そうです
これもさっき説明した、誰かを癒す事が呪いを解く事に繋がっている、っていうやつですね

神官として多くの人を癒してきましたが、一向に効果はなくて。
もしかしたら、色々な人に癒しの力を分散させるのが悪いのかもしれない

はい……100人を1度ずつ癒すのではなく、1人を100回癒さないといけない、みたいな…

なので……君の事を、たくさん癒す事が出来たら、もしかしたら私の呪いも解けるかもしれない
んです

……ふふっ、ありがとうございます
君がそう言ってくれて、私、とっても嬉しいです！
至らぬところもありますが、どうかよろしくお願いしますね

ええと、「癒す」と言っても具体的なイメージってできませんよね
うーん……教会では、怪我を治したり、旅に向かう人へ祈りを捧げたりしていますが…
それ以外ですと、マッサージとか、セラピーとか？

私はこの町から出た事がないので、疎くて…
そうだ、良かったら君が旅先でしてきた事を教えてもらえませんか？

つまらなくなんかありません。

たまに冒険者の方の話を聞かせてもらうんですが、自分では知らない世界を知れるようで、とても楽しいんですよ

はい！ですから、どんな小さな事でもいいので、私にいっぱい教えてくれると嬉しいです！

……なるほど、西の洞窟にはドラゴンの群れが住んでいたんですね
通常、ドラゴンは子育てを終えると個別に暮らすそうなので、群れは珍しいと本で読んだ事があります

ふふ、家族で暮らしているから、より強かったのでしょうかね
背負うものが多いほど頑張るのは、人間も一緒ですし

あ！別に、君が勝てなかったのも仕方ない、というわけではなく……！
私だったら戦いを挑む事さえも出来ないと思うので、君はすごいですよ

ええ……旅に出る神官や、冒険者と共に魔物と戦う神官もいますが、私は攻撃魔法が使えないので
基本的に町から出る事はないんです

回復は得意ですが、戦いの場では足手まといになってしまいますからね…
陣形が崩れれば、他の方にも迷惑がかかりますし

でも、君の話を聞いていたら、旅をするのも楽しそうだなって思いました！
ドラゴンの巣に飛び込むのは無理ですけど、近場なら行ってみたいですね

1人じゃなくて、もちろん君とですよ？
…私の事、守ってくれるんですよね？

あはは、確かに、この姿のままじゃ大変ですね
じゃあ、呪いが解けたら連れて行ってください！

……ちなみに、他の神官とも旅をした事はあるんですか？

え……そんなにも？

ふーん……そうなんですか。
やっぱり、ドラゴンと戦うような実力者は違うんですね～

……へ？
神官との旅がないって…ど……どうしてですか？
彼女たちがいれば、怪我をしてもすぐに治してもらえるのに…

ああ、なるほど…

一緒に旅をしていた剣士さんが女性恐怖症なら仕方ないですね…あはは

ホッ…

……う、ううん、なんでもないです！
いつか君の仲間にも挨拶をしてみたいなーって

え、何かヒントになることを思い出したんですか？

ふむふむ……仲間の1人が行きつけのお店に、癒しの効果がありそうだった、と…
そのお店はどんなものだったんです？

へえ～…「耳かき専門店」ですか
それは…名前の通り、耳かきをするお店って事でいいんでしょうか

なるほど……膝枕をして、リラックスしてもらいながら耳のお掃除をするお店…
通いつめるなんて、それはきっとすごい癒しの力があるんですね

ち、ちなみに、君は行った事は…

……い、いえ！なんでもないです
それより、良かったら早速その『耳かき』をしてみたいな、と思ったんですが、いいですか？

ふふっ、君ならそう言ってくれると思ってました
膝枕……は、ここじゃ難しいですね。あちらのカーペットでやりましょう

ええと……こんな感じでしょうか？
私の膝、硬くありませんか？

ふふ、なら良かったです。
ん……耳かきの前に、深呼吸をしてリラックスしましょうか。吸って～～

吐いて～～～～……吸って～～……
吐いて～～……

うん、ちょっと落ち着きましたか？

では、このまま耳かきをしていきますね。
人の耳を掃除するのは初めてなので、痛かったら言ってください

あ、それから、目を閉じてくださいね～

……さて、と……まず、奥の方に、耳かきを入れて…

こ……こんな感じで、大丈夫でしょうか……？
もう少し奥まで入れて平気？

分かりました。
じゃあ、こうやって、っと……

んっ…うん
んん…はあ…ふう

奥の方まで……耳かきを入れますね……それから、手前に…
かりかり、かりかり……引っ搔いて、いきますよ……

かりかり……かり、かり……かり……かり……

んっ…ふう…

細かく動かしていくの、気持ちいいですか？

ふふ、じゃあ、このままぐる～っとやっていきますね

かりかり……んんっ……かりかり……

ンンツ…
ふう、はあ…ふう

耳の……奥って……んん……暗くて、よく見えないですね……
顔の影になっちゃって……確かにこれは、技術が必要そうです……

専門店があるのも、頷けます……んん～…

ふう…はあ…んん

……あ、この辺……もうちょっと、奥まで……入りそう……？
入れてみるので……痛かったら、言ってくださいね…

えいっ……
ん……大丈夫なら、良かったです……
ここ、自分でやる時じゃ、奥すぎて上手く出来なさそうな場所ですね……

んっ…ふう…はあ

この……1番深いところから、手前にかけて……

ゆっくり、耳かきを動かしていきますよ～……

かりかり……かり、かり……かりかりっ…
かり、かり……かり、かり……

かりかり……かりかり……かりかり…

…なんだか、単調な動きになってしまっているかも…
これで本当に癒されてますか…？

っ……君がそう言ってくれるなら、信じますね
とは言え、ただ動かすだけでは……あっ

この、耳かきの頭に付いてるふわふわで汚れを取ってみましょうか
ええと、これで耳の中を…

あっ、急に動いたら危ないですよ？

くすぐったかったんですか？
ふふっ……じゃあ、ゆっくりやりますから
耐えられなかったら、言ってくださいね

ぽんぽん……ぽんぽん……ふわふわ……ぽんぽん……

んっ…ふう、はあ…ふう

ふわふわ……ぽん、ぽん……
どうですか？これくらいなら、平気そうです？

……ふふ、じゃあ、このまま、もうちょっとだけ……

ぽんぽん……ぽん、ぽん、ぽん……ふわふわ……ぽんぽん…

んっ…ふう…は、あ…

……はい、おしまいです♪
あ、そうだ……最後に…

ふ～～～っ……

右耳はこれで終わりですね。

じゃあ次、反対のお耳を掃除しますから、頭を反転させてもらえますか？」

はい、このままぐる～って、回っちゃってください

ひゃわっ!?

あ、ごめんなさい……

思ったよりくすぐったくて、びっくりしちゃいました…

気を取り直して、左耳やりますね～。

右と同じ感じでいいですか？

癒された……ふふ、それなら良かったです。

じゃあ、もっとも～っと、君の事を癒していきますね

さっきは奥の方からやっていったので、今度は手前から……

お耳の隙間まで、耳かきで綺麗にしていきましょう

かりかり……かりかり……かり、かり……

ふふっ。気持ちいいみたいで、何よりです

お耳の……ぐるぐるしてるとこ、ゆ～っくり……こうやって、かりかり、って……していきますからね……

んっ…ふう…はあ、うん…

かりかり……かり、かり……かりかりっ……かりかり……

んん、んっ……今度は……ゆ～っくりと、奥の方に……耳かき、入れちゃいますね……

ん……同じ耳でも、形がちょっと違うから……

気を付けて耳かきしないとイケませんね……耳の中が傷付いてしまったら大変ですし……

……よし、奥まで入りました。

さっきと同じように、君の耳の深いところ……耳かきでゆ～っくり触っていきますよ～

つんつん……つん、つん……つんつん……つんつん……

んっ……ここ、もうちょっと、奥……ふふっ……やっぱり、まだ入りそう……

んん、うん…

はあ…ふう、はあ、うん…

奥の方からゆ～っくり、耳かきで汚れを掻き出します。

かりかり……かりかり……かりかり……んん………かりかり……

んっ…ふう…は、あ…

もうちょっと強い方がいい、ですか？
分かりました……じゃあ、こんな感じはどうでしょう？

かりかりっ……かり、かりっ……

ふふ、気持ちいいですか？
なら、このまま続けていきましょう。かりかり……かりかり……

ンンツ…ふう、はあ、んん…

マッサージも、少し痛いくらいが気持ちいいって事もありますし……
耳かきも同じなのかもしれないですね。
とは言え、傷を付けてはいけませんけど

君が1番気持ちいいと思えるよう、私、もっと頑張りますから。
……かりかり、かりかりっ……かり、かりっ……

奥の方から……手前に向かって、かりかり
ふふ、自分じゃ届かないようなところでもんね？
耳の中なんて、見る事さえも出来ないですから…

大丈夫、私に全部任せてください……
いっぱい、い～っばい……癒してみせます……
かりかり……かりかり、かりっ……

ん、あ…ふう…はあ…

……と、そうだ。
こっちの耳も、ぼんぼんして汚れを取っておきましょう。

ぼんぼん、ぼんぼん……ふわふわ…

ふふ、やっぱりこれにはまだ慣れませんか？
ぶつかる度に君の身体がビクッと震えていますよ？

気持ちよくなってる証拠ですね……

ふわふわ、ぼんぼん……ふわ、ふわっ……
ふわふわふ、ふわふわ……ぼんぼん……

ふわふわ……ふわふわ……

んん…うん…

はあ、んん…ふ、う…

この部分、私も今まで使った事なかったんですけど……

君がこうやって気持ち良さそうにしているのを見て、気になっちゃいました…

今度自分でもしてみようかな……

なんてね、ふふっ。

……ぽんぽん……ぽんぽん……ぽん、ぽん…

……よし、こっちもこれで終わり。最後に…

ふ~~~~っ…

はい、おしまい……

え？耳を吹くの、もう1回やってほしいんですか？

ふふっ、君がそう言うなら…

ふ~~~~~っ……ふ〜っ♪

こんな感じでどうですか？

……うん、なら、この調子でまた今度やってみましょうか

いえいえ。

君が癒されたのなら、私だって呪いを解く事に繋がってるんですから、ウィンウィンですよ

さて、もうこんな時間です。

晩ご飯の準備をするので、ちょっと待っててくださいね！